

# 農作業コツのコツ

【第5号】

令和7年5月17日  
福光農業改良協議会  
砺波農林振興センター南砺班  
福光農業協同組合 営農部

5月上旬は気温がやや低く推移していましたが、日射量は多く、4月下旬からの田植の活着は概ね良好です。今後は**浅水管理**を徹底し、分けつの発生を促しましょう。

## 水稻・移植

### 1 水管理

- (1) 中干しまで3cm程度の**浅水管理**とし、初期分けつの確保に努めましょう。
- (2) 藻や表層はく離が発生している場合は、1～2日程度の田干しを行い、水を入れ替えましょう。

《藻や表層はく離》  
モゲトン粒剤の散布が効果的。  
2～3kg/10a  
水深 3cm(湛水)  
(スポット処理も可能)。

### 2 中後期除草剤の散布

- (1) 粒剤やジャンボ剤の場合は、防除効果を高めるため、散布前に**水の入れ替え**や**軽い田干し**を行った後、**やや深水状態**(水深5～8cm)で散布し、その後5日間は**湛水状態**(水深5cm)を保ちましょう。
- (2) 液剤で落水処理をする場合は、雑草の茎葉に確実にかかるように散布し、3日間は落水状態を保ちましょう(ただし、ロイヤント乳剤は落水処理後3日以内に入水)。

対象雑草	農薬名	使用時期	10a当たり 使用量	総使用回数 (使用期限)など
ノビエのみ	トドメ MF1キロ粒剤	移植後 14日～ノビエ 5.0 葉期	1kg	3回以内(収穫 50 日前まで)
	クリンチャーEW ※展着剤を加用する	移植後 20日～ノビエ 6.0 葉期	100 ml (希釈水量 25～100ℓ)	2回以内(収穫 50 日前まで) ※湛水または落水処理
	クリンチャージャンボ	移植後 7日～ノビエ 4.0 葉期 移植後 25日～ノビエ 5.0 葉期	1kg (50g×20 個) 1.5kg (50g×30 個)	2回以内(収穫 30 日前まで)
ノビエ 広葉雑草	アクシズ MX1キロ粒剤	移植後 7日～ノビエ 4.0 葉期	1kg	1回(収穫 45 日前まで)
	ブイゴール SM1キロ粒剤	移植後 15日～ノビエ 3.5 葉期	1kg	1回(収穫 60 日前まで) ※高温(30℃以上)が予想される場合は使用を避ける
	トドメバス MF 液剤	移植後 15日～ノビエ 6.0 葉期	1,000 ml (希釈水量 25～100ℓ)	2回以内(収穫 30 日前まで) ※落水またはごく浅水処理
	ロイヤント乳剤 ※ホタルイ、クグワイには 効果なし	移植後 20日～ノビエ 5.0 葉期	200 ml (希釈水量 25～100ℓ)	2回以内(収穫 45 日前まで) ※落水(散布後3日以内に入水)、ごく浅水または湛水処理
	アレイル SC	移植後 20日～ノビエ 5.0 葉期 ※出穂始期 15 日前まで	500 ml (希釈水量 通常 50～100ℓ 少量 25～50ℓ)	1回(収穫 45 日前まで) ※湛水または落水処理
	ツイゲキ豆つぶ250	移植後 14日(イネ 5.0 葉期以降) ～ノビエ 4.0 葉期	250g	1回(収穫 60 日前まで)
	テッケンジャンボ	移植後 15日～ノビエ 4.0 葉期	500g (50g×10 個)	1回(収穫 60 日前まで)
広葉雑草 のみ	バيسコープ1キロ粒剤	移植後 14日～60 日	1kg	1回(収穫 45 日前まで)
	バサグラン粒剤	移植後 15日～	3～4kg	1回(収穫 45 日前まで) ※落水処理
	バサグラン液剤	移植後 15日～	500～700 ml (希釈水量 70～100ℓ)	2回以内(収穫 45 日前まで) ※落水処理

※詳しくは『営農とくらし』P58～61、64を参照してください。

※クリンチャーEW 無人航空機散布可能 希釈量等は営農とくらしを参照してください。

### 3 溝切り

- (1) **溝切り**は、早生品種は5月末頃、コシヒカリ・てんこもり・直播は6月初めに行いましょう。
- (2) 溝の間隔は、10～15条に1本程度を目安に、秋まで残るしっかりした深い溝を切りましょう。
- (3) 中干しは、目標茎数を確保したことを確認し、田植後1か月を目安に開始しましょう。

#### 《溝切りの効果》

- ・ほ場への**入排水が短時間で均一**に行え、水管理がしやすくなります。
- ・**ほ場全体が乾き易くなり**、収穫作業がしやすくなります。

浅水管理を徹底し、初期分けつの発生を促しましょう。

中後期除草剤は、雑草の発生状況を確認し、遅れずに散布しましょう。

中干しの効果を高め、収穫時の地耐力の確保のために溝切りを行います。

# 水稻・直播

## 1 水管理

- (1) 出芽が揃った後は、水深3cm程度の**浅水管理**を行い、**早期に分げつを確保**しましょう。
- (2) 藻や表層はく離が発生し始めたら、**早めに水の入れ換えや軽い田干し**を行きましょう。
- (3) 6月初めに10～15条に1本程度を目安に**溝切り**を行きましょう。

## 2 雑草防除

体系是正剤散布後に雑草が残った場合は、下表を参考に中後期除草剤を散布しましょう。

対象雑草	農薬名	使用時期	10a当たり 使用量	総使用回数 (使用期限)など
ノビエのみ	トドメMF1キロ粒剤	イネ3.5葉期～ノビエ4.0葉期	1kg	3回以内(収穫50日前まで)
	クリンチャーEW ※展着剤を加用する	播種後10日～ノビエ5.0葉期	100ml (希釈水量25～100ℓ)	2回以内(収穫30日前まで) ※湛水または落水処理
ノビエ 広葉雑草	アクシズMX1キロ粒剤	イネ1.0葉期～ノビエ4.0葉期	1kg	1回(収穫45日前まで)
	ブイゴールSM1キロ粒剤	イネ5.0葉期～ノビエ3.0葉期	1kg	1回(収穫60日前まで) ※高温(30℃以上)が予想される場合は使用を避ける
	トドメバスMF液剤	播種後10日～ノビエ6.0葉期	1,000ml (希釈水量70～100ℓ)	2回以内(収穫50日前まで) ※落水処理
	ロイヤント乳剤 ※ホタルイ、クログワイには 効果なし	イネ3.0葉期～ノビエ5.0葉期	200ml (希釈水量100ℓ)	2回(収穫45日前まで) ※落水処理(散布後3日 以内に入水)
	アレイルSC	イネ3.0葉期～ノビエ5.0葉期 ※出穂始期15日前まで	500ml (希釈水量100ℓ)	1回(収穫45日前まで) ※湛水または落水処理
	ツイゲキ豆つぶ250	イネ5.0葉期～ノビエ4.0葉期	250g	1回(収穫60日前まで)
	テッケンジャンボ	イネ4.0葉期～ノビエ4.0葉期	500g(50g×10個)	1回(収穫60日前まで)
広葉雑草 のみ	バイスコープ1キロ粒剤	イネ3.0葉期～出芽後60日	1kg	1回(収穫45日前まで)
	バサグラン粒剤	イネ3.0葉期～	3kg	1回(収穫45日前まで) ※落水処理
	バサグラン液剤	播種後35日～	500～700ml (希釈水量70～100ℓ)	2回以内(収穫45日前まで) ※落水処理

※詳しくは『営農とくらし』P58～59、P62～63、65を参照してください。

※クリンチャーEW無人航空機散布可能 希釈量等は営農とくらしを参照してください。

## 大豆

- (1) 青立ちの発生防止のため、早すぎる播種は避け、**播種は5月末頃から**行いましょう。  
※特に昨年、倒伏や青立ちしたほ場では、6月上旬以降に播種を行いましょう。
- (2) 天気予報を必ず確認し、**多雨が予想される場合は播種を延期**しましょう。
- (3) ほ場が乾いた状態でゆっくりと耕起し、土を細かくしてから播種を行いましょう。
- (4) 耕起～播種の一連の作業は**1日**で行いましょう。
- (5) 播種時期に応じた播種量となるよう**事前に播種機の調整**を行いましょう。  
ロール式の播種機の場合は、確実に1穴に2粒の種子が入るように開度を調整しましょう。

**確実に播種量を入れ、  
目標苗立本数を確保！  
スプロケットの調整！**

【播種量と播種機の設定の目安】 ※種子は中粒です。

播種時期	10a 当たり播種量 ※m当たり目標苗立本数(条間80cm)	スプロケットの設定例 (条間80cm)				
		ロール式(1穴2粒)		回転皿式		
		繰出側	接地輪側	目皿	目皿側	車輪側
5月末～ 6月上旬	<b>4.8kg</b> (16,000本/10a) ※m当たりの苗立は13本	11	13	B2	10	13
				B22	14	9
6月中旬	<b>5.4kg</b> (18,000本/10a) ※m当たりの苗立は13～14本	10	14	B22	13	10

※播種量は中粒種子(百粒重27.1g)、苗立率90%として計算

- (6) 基肥量は施肥基準(『営農とくらし』P94参照)を守り、過剰とならないようにしましょう。
- (7) 播種開始時に種子の落下状況、**播種深度(3cm程度)**を必ず確認しましょう。
- (8) 播種後はほ場に水が溜まらないよう**溝を手直し**し、額縁排水溝や排水口に必ず連結しましょう。

※詳しくは5月16日の大豆栽培研修会資料をご確認ください